

子牛市場で衝撃を受け方件。

八島英俊さんの子牛が市場に出されることになりました。早朝4時に出荷用のトラックに積み、まさしく童謡ドナドナ状態。残留する牛たちも何かを感じたのか、みんな興奮して鳴き出しました。「モ～」というより「ンウォ～」と聞こえました。



▲牛それぞれ個性がある

美里町にある市場に到着した時はすでに何百頭もの子牛たちが繋がれていました。この日は丸森町営放牧場で生育された子牛が初めて競りに出される記念日でもありました。これから競りにかけられ、日本のどこかで食用として大人になるまで育てられ、そして殺され、私たちのお腹に入る子牛たち。どんな気持ちなんだろう。「ンウォ～」

▼競り場



値段は20秒くらいで一瞬のうちに決まります。だいたい30万～40万からスタートし、買い手がボタンで値を上げていきます。この日の最高値は99万何千円でした。20秒で100万が動く世界。まるで株やFXのよう。でも元金は経費をたくさんかけて大事に育てた生き物。そしてこの生き物は人間のエゴのために死んでいく。

11月号

Vol.12

協力隊通信

宮原 治代
(ミヤハラ ハルヨ)

せっかくこの世に生まれてきたんだから、食べてあげないとかかわいそうだ。これも人間のエゴかもしれないけど、いろいろ考えていくうちに、やはり『食育』はとても大事なことで、すべてにおいてありがたいとたくいただく事は忘れちゃならないと改めて思いました。



▲いってらっしゃい

「えひめあい」を作っ方件。

畑で使う堆肥にえひめAI（呼び方：えひめアイ）を混ぜるといい野菜が育つからと、土にこだわりを持つ農家さんに教えてもらいました。えひめAIとは、環境浄化微生物をアコヤ貝のへい死が続く宇和海の浄化や、工場排水、生活排水の発生源対策として使用できないか、という目的で研究が始まり、愛媛県産業技術研究所（旧愛媛県工業技術センター）で開発されたものです。EM菌と似た効果がありますが、安価で家庭でできるのが大きな違いみたいです。浄化作用があるので、台所・トイレ・洗濯・お風呂にも使え、500～1000倍に薄めて振りかければ野菜の栽培促進にもなるんだとか。

効果：

1. 浄化槽に使用した場合、スカム・汚泥の減少、消臭効果
2. 汲み取り式のトイレに使用した場合でも悪臭抑制、ハエ等の発生を抑制
3. 家畜の糞尿に使用した場合、堆肥の発酵期間の短縮、悪臭の抑制
4. 配管、排水路に使用した場合、水質浄化



◀薄めて堆肥に混ぜました。どんな効果があるか楽しみです。

稲を刈り、はせに掛ける。



▲倒れないように頑丈な足場用パイプのはせ。

稲刈りのお手伝いに行きました。刈ったのはバインダーさんという機械でしたが、私はバインダーさんが結束してくれた稲をはせに掛けていく担当でした。恥ずかしながらこのバインダーさんの存在を知らず生きてきた私は、その機能に驚くばかりで、やばい機械が出てきた、と思いました。



▲まさか翌日の風で倒れるとは



▲稲刈り日和

堆肥のお勉強。

今、土づくりの映像教材を製作しているおかげで、普段では見れない堆肥づくりを見学することが出来ました。

裏です。

豚：大槻ファーム▶



▲シャワーを浴びて体を洗浄



▲集めた豚糞の水分を飛ばす機械



▲寝かせて発酵させた豚糞

鶏：中山養鶏場▶



▲鶏舎からベルトコンベアーで鶏糞を搬出▲



▲巨大な機械で攪拌する



▲攪拌中。発酵熱で湯気発生。

牛：大槻光一さん▶



▲牛小屋から手作業で牛糞を搬出



▲ぬか等を撒く



▲混ぜた後、足で固める

余談ですが

初めて蔵王に登りました。一番簡単なハイキングコースでしたが、雨天ということもあり、なかなかハードでした。濃霧の中「ここに御釜があると思ってください」とガイドさん。蔵王登山は想像力もないといかんのやね。